

令和2年1月8日

報道機関 各位

生命科学分野の「事業支援カレッジ」
東北大学スマート・エイジング・カレッジ東京
第6期を4月に開講、1月29日説明会開催

国立大学法人 東北大学
東北大学ナレッジキャスト株式会社

【発表のポイント】

1. 東北大学は異業種企業 304 社が参加した SAC 東京の第 6 期を開講する
2. 第 6 期は新たにコースⅢを新設し、事業化まで一貫した支援体制を充実する
3. 1 月 29 日に都内で開催する説明会(特別講演会)で詳細を説明する

【概要】

国立大学法人東北大学(総長:大野英男)と東北大学ナレッジキャスト株式会社(社長:荒井秀和)は、異業種企業のライフサイエンス・ビジネスを支援する「東北大学スマート・エイジング・カレッジ(SAC)東京」第6期を 本年 4 月より東北大学東京分室(千代田区丸の内)で開講します。

東北大学の精鋭教授陣が、企業の経営者・実務担当者に対して、「加齢医学の基礎」から「シニアビジネス」まで最先端の研究開発動向と事業化の知恵を包括的・網羅的に提供、SAC 東京は民間企業の健康寿命延伸ビジネスを多様な角度から支援する「事業支援カレッジ」というユニークな仕組みです。第 5 期までにのべ 304 社の異業種企業が SAC 東京に参加し、産学連携による様々な研究開発、製品化、事業化を推進してきました。

第 6 期は新たにコースⅢを新設し、ライフサイエンス分野での研究開発から事業化、ベンチャー立ち上げまで一貫した支援体制を充実させます。1 月 29 日説明会への参加申込は次のページからお願いします。

<https://www.sairct.idac.tohoku.ac.jp/special-seminar6/>

【問い合わせ先】

東北大学 SAC 東京事務局 今村ひろみ、姜(きょう)麻樹
電話番号:03-6225-2546
電子メール:sact*grp.tohoku.ac.jp (*を@に変えてください)
WEB サイト:http://www.sairct.idac.tohoku.ac.jp/

【詳細な説明】

1. 東北大学スマート・エイジング・カレッジ(SAC)東京の「5つの特長」
 - (1) 各業界を代表する有力企業のべ304社の参加実績があります。
 - (2) 「世界最先端の脳科学」から「シニアビジネスの最新理論」まで、「ワンストップかつ組織的」に学べる唯一のカリキュラムとなっています。
 - (3) カリキュラムは、単に様々なテーマの羅列ではなく、研究最前線の知見が、いかにして企業のビジネスにつながるかのヒントを提供するものになっています。
 - (4) 企業にとっての事業開発のプラットフォームとなっています。
 - ① SAC 東京の活動が「自社事業へのヒント・気づきの獲得」の場に
 - ② SAC 東京の活動が「東北大学との産学連携」のきっかけに
 - ③ SAC 東京の活動が「参加している異業種企業とのコラボ機会」に
 - (5) 大学発ベンチャーの共同創業のきっかけになっています:ごく限られた少数の国立大学にしかないベンチャーキャピタルを有し、産学連携活動からベンチャー企業創業へ機動的に対処できます。

2. 東北大学のスマート・エイジング研究の「4つの実績」
 - (1) 世界でも有数の脳科学研究環境を有します:一つのラボでほぼ全ての脳機能イメージング装置をそろえている例は世界でも希です。
 - (2) 民間企業との圧倒的な産学連携実績を有します:世界中に「脳トレブーム」を生み出した「任天堂 脳を鍛える大人のDSトレーニング」をはじめ、今や「対認知症非薬物療法のスタンダード」と言われるようになった「学習療法」など数多くのヒット商品を生み出しています。
 - (3) 強力な海外ネットワークと国際協働実績を有します:日本発の対認知症療法がアメリカでも導入され、導入過程を映画化したドキュメンタリー映画がアカデミー賞エントリーをはじめ数多くの海外映画祭で受賞し、国際的に評価されました。
 - (4) 市民参加型による研究開発の仕組みを有します:センター6階に産学連携スペースを設置し、民間企業による有料サービスを利用する市民に研究にも協力していただいています。

3. 本件の意義

健康寿命延伸の必要性は様々なところで叫ばれており、類似の研究会も増えています。しかし、健康寿命延伸の根幹である加齢医学の学術的な知見と最新のシニアビジネスの知見とを融合した「事業支援カレッジ」というコンセプトは、本 SAC 東京以外には見当たりません。高齢化率で世界一の日本が先駆けて取り組むべき新たな産学連携のスタイルとして、本学が率先して挑戦するものです。

以上

添付資料1 東北大学スマート・エイジング・カレッジ東京 第5期参加企業
(企業名 50 音順、令和 2 年 1 月 6 日現在)

アクサ生命保険株式会社
旭化成ホームズ株式会社
アステラス製薬株式会社
株式会社 IKUTA Kitchen
NEC ソリューションイノベータ株式会社
MS&AD インターリスク総研株式会社
オムロンヘルスケア株式会社
株式会社カーブスジャパン
株式会社 QOL アシスト
キューピー株式会社
株式会社 QUICK
社会福祉法人くだまつ平成会
グッドタイム・リビング株式会社
株式会社クマハラアスリートサポート
クラブツーリズム株式会社
株式会社クリニコ
株式会社クレハ
ケアパートナー株式会社
社会福祉法人弘陵福祉会
株式会社コシダカ
小林製薬株式会社
サントリーグローバルイノベーションセンター株式会社
サントリー食品インターナショナル株式会社
株式会社 JOY
住友生命保険相互会社
株式会社星和ビジネスリンク
関彰商事株式会社
株式会社セブン&アイ・クリエイトリック
SOMPO ホールディングス株式会社
第一三共株式会社
株式会社大広
大日本住友製薬株式会社
高砂香料工業株式会社
株式会社チャーム・ケア・コーポレーション
株式会社テクノソリューション

株式会社デンソー
社会福祉法人同愛記念病院財団 同愛記念ホーム
株式会社東急不動産 R&D センター
東京海上日動火災保険株式会社
株式会社日本経済社
株式会社 NeU
ネットパイロティング株式会社
パナソニック株式会社
パラマウントベッド株式会社
株式会社日立ソリューションズ・クリエイト
富士通コネクテッドテクノロジーズ株式会社
富士フイルム株式会社
株式会社ブリヂストン
株式会社本田技術研究所 R&D センターX
三井不動産株式会社
夢創 IT 株式会社
ヤマサ醤油株式会社
株式会社 UR リンケージ
ライオン株式会社
株式会社ライトアップショッピングクラブ
株式会社 WOWOW